

令和8年第3回定例会 議案質疑通告一覧

通告番号 発言議員	議案 番号	質 疑 内 容
1. 崎山華英議員	1号	令和7年度旭市一般会計決算の認定について (1) 説明資料P11 令和7年度の経常収支比率は95.7%となり、前年度よりも上昇している。この現状をどのように分析し、財政構造の弾力性をどのように確保してきたのか見解を伺う。 (2) 決算書P12 令和7年度一般会計の不用額は約26億2,000万円で、前年度から約4億2,000万円増加している。この現状をどのように分析し評価しているのか伺う。
	14号	旭市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて (1) 教育委員会委員の任命に当たり、どのような基準や考え方に基づいて候補者を選定しているのか伺う。また、現在の教育行政の喫緊の課題を踏まえ、どのような役割や見識を期待しているのか伺う。
2. 松木源太郎議員	1号	令和7年度旭市一般会計決算の認定について (1) 決算書P15・16 P53・54 説明資料P51 監査委員の審査意見書を踏まえて、本決算における歳入歳出決算及び基金運用状況について市長はどのように評価し、今後の財政運営に反映していくのか伺う。 (2) 決算書P503～505 一般会計の基金の運用状況をどのように捉えているか。今後の大型事業と不測の財政需要に対する基金の在り方について伺う。 (3) 決算書P62 説明資料P14 公用車管理費について、令和7年度の実績と成果をどのように評価しているか伺う。 (4) 決算書P78 説明資料P15 ふるさと応援寄附推進事業について、令和7年度の実績と成果をどのように評価しているか伺う。 (5) 決算書P88 説明資料P15・16 コミュニティバス等運行事業、デマンド交通運行事業について、事業成果をどのように評価しているか伺う。 (6) 決算書P244 説明資料P26 冠水対策排水整備事業について、市民の安全安心の向上にどのような効果があったと認識しているか伺う。

令和8年第3回定例会 議案質疑通告一覧

通告番号 発言議員	議案 番号	質 疑 内 容
2. 松本源太郎議員	1号	令和7年度旭市一般会計決算の認定について (7) 決算書P272 説明資料P29 防災対策整備事業について、市民の安全安心の向上にどのような効果があったと認識しているか伺う。
	2号	令和7年度旭市病院事業債管理特別会計決算の認定について (1) P359～366 毎年多額の収支不足が生じている中における今後の財政運営をどのように見通しているか伺う。
	3号	令和7年度旭市国民健康保険事業特別会計決算の認定について (1) 決算書P371～375 国民健康保険税負担や収納状況を踏まえて、国民健康保険事業の持続可能性についてどのように認識しているか伺う。 (2) 決算書P377～381 説明資料P3 診療所の利用状況及び経営状況をどのように評価し、今後の運営改善にどのように取り組むのか伺う。
	4号	令和7年度旭市後期高齢者医療特別会計決算の認定について (1) P429～433 被保険者の増加や保険料負担の動向を踏まえ、市としてどのような課題認識を持っているか伺う。
	6号	令和7年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について (1) P11～13 水道事業の経営状況をどのように評価し、将来の料金水準や利用者負担をどのように考えているか伺う。
	7号	令和7年度旭市公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について (1) P11・12 下水道事業の経営安定化に向けて、接続率の向上をどのように進めていくか伺う。
	8号	令和7年度旭市農業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算の認定について (1) P11・12 農業集落排水事業の将来的な運営について、どのような方向性を考えているか伺う。

令和8年第3回定例会 議案質疑通告一覧

通告番号 発言議員	議案 番号	質 疑 内 容
2. 松木源太郎議員	9号	令和8年度旭市一般会計補正予算の議決について (1) P10 介護保険特別会計への繰入れを必要とした要因と今後の見通しについて伺う。 (2) P12 財政調整基金への積立を行う理由と、基金残高をどの程度確保すべきと考えているか伺う。
	11号	令和8年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について (1) P4 高齢化の進展を踏まえ、介護保険事業の持続可能性及び地域包括支援体制をどのように考えているか伺う。
3. 戸村ひとみ議員	1号	令和7年度旭市一般会計決算の認定について (1) 決算書P2 予算現額と決算額の乖離がみられるが、その要因をどのように分析し、今後の予算編成にどう反映していく考えか伺う。 (2) 決算書P2 令和6年度と比較して歳入・歳出共に増した理由をどのように分析しているのか伺う。 (3) 決算書P15 説明資料P4 自主財源の増減が財政運営にどのような影響を与えると認識しているか伺う。 (4) 決算書P503・504 説明資料P10 基金残高が減少している状況をどのように評価しているか伺う。 (5) 決算書P3・17 説明資料P7 市税収納率の状況をどのように評価し、今後どのように収納率の向上を図る考えか伺う。 (6) 決算書P9・12 限られた財源の中で事業総量の最適化にどう取り組みその成果をどのように評価しているか伺う。
	5号	令和7年度旭市介護保険事業特別会計決算の認定について (1) 決算書P458 不納欠損が生じているが、事業に与える影響について伺う。 (2) 決算書P468 多額の不用額が発生しているが、どのように評価しているか伺う。

令和8年第3回定例会 議案質疑通告一覧

通告番号 発言議員	議案 番号	質 疑 内 容
3. 戸村ひとみ議員	6号	令和7年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について (1) 決算書P5 県補助金が減少した要因をどのように分析し、今後の事業運営にどのような影響があると考えているか伺う。 (2) 決算書P12 料金回収率の状況をどのように評価し、将来的な料金水準についてどのような考えを持っているか伺う。 (3) 決算書P15・16 水道施設の老朽化対策及び更新計画について、どのような考えで取り組んでいるか伺う。
	7号	令和7年度旭市公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について (1) 決算書P11 一般会計からの繰り入れをどのように評価し、今後の経営健全化をどのように進める考えか伺う。 (2) 決算書P13・14 施設更新と維持管理について、将来を見据えどのような方針で進めていくのか伺う。 (3) 決算書P5・19 下水道事業の経営状況を踏まえて、使用料の見直しについてどのように考えているのか伺う。
	9号	令和8年度旭市一般会計補正予算の議決について (1) P12 2款1項7目ふるさと応援寄附推進事業について、今回の補正をどのように評価しているか伺う。 (2) P13・14 福祉事業所・介護事業所・医療機関物価高騰対策支援金について、支援金制度の目的及び期待する効果は何か伺う。 (3) P14 3款1項3目生活支援費の地域密着型サービス拠点等施設整備費補助金について、今回の補正により、介護サービス基盤の充実にどのような効果を見込んでいるか伺う。 (4) P15 4款2項1目消耗品費についてごみ袋の追加購入に伴う補正とのことであるが、購入が必要となった要因をどのように分析しているか伺う。

令和8年第3回定例会 議案質疑通告一覧

通告番号 発言議員	議案 番号	質 疑 内 容
3. 戸村ひとみ議員	9号	令和8年度旭市一般会計補正予算の議決について (5) P15 6款3項1目漁業振興事業補助金について 防犯灯の更新費用に対する補助金であるが、今回の補正で対応することとなった背景と必要性は何か伺う。
	10号	令和8年度旭市後期高齢者医療特別会計補正予算の議決について (1) P10 3款1項2目 国庫支出金返還金について、後期高齢者医療保険のシステム改修ができなかったことでの返還金であるが、執行できなかったことでの市民サービスへの影響をどのように評価しているか伺う。
	11号	令和8年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について (1) P4・11 地域包括支援センター業務委託料として債務負担行為を設定しているが、業務を委託する目的及び期待する効果は何か伺う。
	13号	指定管理者の指定について（おひさまテラス） (1) 選定にあたりどのような考え方を重視したのか伺う。 (2) 指定管理者による施設運営にどのような効果を期待しているか伺う。
4. 高橋美千子議員	1号	令和7年度旭市一般会計決算の認定について (1) 決算書P503 各基金の増減が見られるがその要因をどのように分析し、持続可能な財政運営にどのように反映していく考えか伺う。
5. 伊場哲也議員	1号	令和7年度旭市一般会計決算の認定について (1) 決算書P12 決算は13.9億円の黒字だが、予算のうち13.3%（約26億円）が不用額となり、約26億円が来年度に繰り越された。黒字と「使い残しの多さ」を市長はどのように総合的に評価しているか伺う。

令和8年第3回定例会 議案質疑通告一覧

通告番号 発言議員	議案 番号	質 疑 内 容
5. 伊場哲也議員	1号	令和7年度旭市一般会計決算の認定について (2) 決算書P94・150 説明資料P34 物価高対策（商品券、子育て応援手当）や給食費無償化は、市民生活にどのような効果があったか伺う。 (3) 説明資料P6・11 経常収支比率が95.7%まで上がり、財政の自由度が下がっている。今後、どの水準を目標として財政運営を行う考えか伺う。 (4) 説明資料P7 補足資料P2・6 市税の収納率が下がり、収入未済額が増えた。差し押さえは増えているにもかかわらず収入未済額も増えている。今後、どのように収納対策を講じていく考えか伺う。 (5) 説明資料P9 ひかた椿小学校の開校準備、北統合中学校の検討、体育館の空調整備など大型事業が続く。今後、財源負担が最も重くなる時期をどのように見込んでいるか。また、その財源をどのように確保していく考えか伺う。 (6) 説明資料P9 市全体の地方債の合計は487億円で、前年より増えている。今後、どのような考え方で管理していくのか伺う。 (7) 説明資料P10 財政調整基金が4年連続で減っている。同基金の適正水準の考え方と確保方針について伺う。 (8) 説明資料P11 実質公債費比率は令和7年度9.9%、令和6年度9.8%に対し、県内市平均6.1%で、本市が3.7ポイント高い。この水準をどう評価し、今後、どのように改善を図る考えか伺う。
	2号	令和7年度旭市病院事業債管理特別会計決算の認定について (1) 説明資料P3 研修医の宿舎整備に約20億円を投資した。研修医・医師を確保・定着させる効果をどう期待し、また、市民に対してどのように説明していく考えか伺う。 (2) 説明資料P4 平成22年度に118億円を借り入れた再整備事業は、まだ77億円以上が残っている。返済のピークをどのように見込み、今後どのように管理していく考えか伺う。

令和8年第3回定例会 議案質疑通告一覧

通告番号 発言議員	議案 番号	質 疑 内 容
5. 伊場哲也議員	2号	令和7年度旭市病院事業債管理特別会計決算の認定について (3) 説明資料P2 病院事業会計の経営が悪化した場合、不足分の繰出金という形で一般会計の負担が増える仕組みになっている。そのリスクをどのように認識し、今後どのように対応していく考えか伺う。
	3号	令和7年度旭市国民健康保険事業特別会計決算の認定について (1) 説明資料P2 加入者数が5年連続で減っているのに、1人あたりの負担額は上がり続けている（年11万3,285円）。この状況をどのように認識し、今後どのように制度の持続可能性を確保していく考えか伺う。 (2) 説明資料P3 滝郷診療所は患者数・診療収入ともに2年連続で減少している。地域の医療拠点としての役割をどのように評価し、どのような運営を目指していく考えか伺う。 (3) 補足資料P2 保険税の収納率や不納欠損額の状況をどのように評価し、今後どのように収納対策を講じていく考えか伺う。 (4) 説明資料P7 被保険者の負担の状況や国民健康保険財政の状況を踏まえ、今後の保険税率のあり方についてどのように考えているか伺う。
	5号	令和7年度旭市介護保険事業特別会計決算の認定について (1) 説明資料P2 所得の低い第1段階から第3段階の人が全体の27.7%を占める中、保険料負担の公平性とサービス利用のバランスをどう評価しているか伺う。 (2) 説明資料P2・3 在宅で介護を受けられる仕組み（定期巡回サービスなど）は実績が出ている。第9期計画（初年度）の進捗状況と、介護人材（ヘルパーなど）不足の実態、確保に向けての現状認識について伺う。 (3) 説明資料P3 グループホームなど認知症関連の給付が給付費の大きな部分を占めている。認知症対策をどのような方針で進めていく考えか伺う。

令和8年第3回定例会 議案質疑通告一覧

通告番号 発言議員	議案 番号	質 疑 内 容
5. 伊場哲也議員	5号	令和7年度旭市介護保険事業特別会計決算の認定について (4) 説明資料P2・3 次の第10期計画（令和9年度～）に向けて、保険料見直しの方向性と、介護給付費準備基金の活用についてどのように考えているか伺う。
	6号	令和7年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について (1) 決算書P3・20・25 設備投資に必要な資金が収入だけでは足りず、積立金を取り崩して補っている状況をどのように評価し、今後の資金計画をどのように考えているか伺う。 (2) 決算書P5・11 収益はほぼ横ばいなのに費用は2.9%増え、利益が前年より約4,095万円縮小した。この経営状況をどのように評価し、今後どのように対応していく考えか伺う。 (3) 決算書P7 剰余金のうち約3.4億円を資本金に組み入れる。これは将来の設備更新の財源を確保するためか、それとも財政基盤を強化するためか、どのような考え方で行うのか伺う。 (4) 決算書P11・20 水道管や施設の老朽化が進んでいる。更新の中長期計画と、その財源をどのように確保していく考えか伺う。 (5) 決算書P11・21 今後の経営状況や施設更新需要を踏まえ、水道料金のあり方についてどのように考えているか伺う。
	7号	令和7年度旭市公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について (1) 決算書P11 下水道未接続世帯がまだ約23%残っている。接続率向上に向けた取組みを、今後どのように進めていく考えか伺う。 (2) 決算書P11・17 経常収支比率は112.9%（100%を超えて黒字基調）だが、経費回収率（使用料でどれだけ経費を賄えているか）は40.2%にとどまり、資料自体が「一般会計の繰入れに依存」と認めている。この経営構造をどのように評価しているか伺う。 (3) 決算書P11・19 使用料収入だけで経費の4割しか賄えていない状況である。料金と費用の両面から、今後どのように経営改善を進める考えか伺う。

令和8年第3回定例会 議案質疑通告一覧

通告番号 発言議員	議案 番号	質 疑 内 容
5. 伊場哲也議員	8号	令和7年度旭市農業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算の認定について (1) 決算書P11・19 使用料収入は約1,555万円しかないのに、事業費用は約6,413万円かかっている。この経営状況をどのように評価し、今後、どのように事業を維持していく考えか伺う。
	9号	令和8年度旭市一般会計補正予算の議決について (1) 補正予算書P10 前年度からの繰越金（約7.9億円）が今回の補正財源の中心になっている。繰越金を基金に積立て活用する考え方と財政運営上の狙いについて伺う。 (2) 補正予算書P12 今回の補正の歳出のほとんど（約95%）が、財政調整基金への積立て（7億円）とふるさと応援基金への積立て（2.4億円）である。この時期に積立てを行う理由と、今後の財政見通しをどのように考えているか伺う。 (3) 補正予算書P12 ふるさと納税の推進経費が約1.3億円計上されている。増収の見込みと、経費に見合う効果はあるか伺う。 (4) 補正予算書P13・14 物価高騰対策として、福祉・介護・医療の事業所に支援金が計上されている。どのような効果を期待し、市民サービスの維持にどうつなげる考えか伺う。 (5) 補正予算書P17 市の借金残高（普通債）は令和7年度末から増加に転じる見込みである。議案第1号で示された「市債は縮減傾向」という説明である、今後どのように管理していくか伺う。
	13号	指定管理者の指定について（おひさまテラス） (1) 今回は公募を行わず、イオンタウン株式会社を選定し、書類審査で89.22点の評価を得て指定した。公募によらず選定した理由は何か、あわせて公平性及び透明性をどのように確保したのか伺う。 (2) 指定管理者の指定により、市民サービスや施設運営にどのような変化が生じるのか伺う。

令和8年第3回定例会 議案質疑通告一覧

通告番号 発言議員	議案 番号	質 疑 内 容
5. 伊場哲也議員	13号	指定管理者の指定について（おひさまテラス） (3) 指定管理者制度を導入することで、どのような効果を期待しているのか。また、市の直営と比較してどのようなメリットがあると考えているか伺う。